

日々の経験からの貴重な学び

保川有梨

皆さまこんにちは。お元気でいらっしゃいますか？サンフランシスコに留学中の保川です。こちらは暖かくなってきたかと思えば冷え込んだりと中々落ち着かない気候ですが、町中を歩く人の姿も徐々に多く見られるようになりました。先月の豪雪の影響で、サンフランシスコ北部のTahoeでは多くの雪が残っており、未だにスキーができるほどだそうです。

サンフランシスコは半島の為、常に風が吹いており、丘陵地帯でもあるため、市内には数多くの丘があります。その影響か、電気スクーターや一輪車を移動の手段として使用する人も多くおり、こういった風景を目にすることが当たり前になってきました。



(写真：左：電気スクーター
右：電気一輪車)

先日はSFロータリークラブのDanさんと共に、Food Bankのボランティアをしてきました。SFロータリークラブが主催しているボランティア企画で食料を必要としている方々のために、食料の梱包から家庭への配布までを行っています。今回私達は、食料の梱包に携わりました。コンベア式に流れてくる箱に、チーズ、油、野菜、フルーツなどの食料を順番に詰め、おおよそ900の箱を準備しました。



(写真：ボランティアの様子。)

SF Marin Food Bankという団体で、市内に数多くの配給地区があります。配布する食料の約6割は新鮮な野菜や

フルーツで、食料を配るだけでなく、その質にも配慮しています。自分自身も食料配給のサー



(写真：SFロータリークラブのDanさんと。)

ビスを受けながら生活をする中で、受け手と支援者の両者を経験することは、非常に貴重な経験になりました。

学業面では、春学期も残り2週間となりプロジェクトも佳境に入っています。先日の週末は、デザインプリントと呼ばれるワークショップに参加してきました。2日間で課題を洗い出し、問題点を特定し、解決策を提案するという短期集中型のデザイントレーニングです。若者のサブカルチャーを生み出すSNSはコミュニティを作り出す一方でコミュニティから阻害される可能性も作り出しています。このような問題をもとに、今ある技術情勢の中で、こういった方向性を指し示すことが有意義であるのか、検討するということが課題でした。



(写真：デザインプロセスと発表の様子。)

普段あまり深入りすることのない大きな課題に取り組み、精神的にも身体的にも疲弊する2日間でしたが、5人一組のチームでの意見の食い違いをどのように整合性を取りながら、また切れ目なく続く過程にどのようにメスをいれながら進めるかなど、普段考える機会のない課題に触れることができました。プロジェクト終了後はチームメンバーで称え合い、チームの結束も強まりました。

卒業に向けても残り4ヶ月となる中で、卒業後の進路相談など、大学の同プログラムの卒業生や社会で活躍していらっしゃる方々からアドバイスをいただくことも多く、大変助けられています。日々の多くの方からの支援への感謝を忘れず、自分自身も他の方々の手助けになれることに励んでいきたいと思っております。